

令和6年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立小台橋高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 教育情報部主任（事務局長）、教育情報部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長（2名）、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当)、主幹教諭（進路指導担当）、教育相談部主任、教育情報部主任 計9名
- (4) 協議委員の構成
学識経験者（星槎大学大学院、聖徳大学）、地域教育関係（足立区、荒川区）、地域代表（足立区、荒川区）、地域青少年育成関係（足立区、荒川区）、保護者代表 計9名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和6年6月21日（金）内部委員9名、協議委員6名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、
学校経営計画、本校の現状と課題等説明、意見交換
第2回 令和6年10月18日（金）内部委員9名、協議委員7名
本校の今年度の取り組みや現状等について、協議委員からの教育活動に対する意見、
学校評価の内容、実施方法の検討、協議
第3回 令和7年2月7日（金）内部委員9名、協議委員7名
本校の今年度の取り組みや現状等について、学校評価の報告及び学校運営に関する提言、
次年度に向けた方向性の確認、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第1回 令和6年10月18日（金）内部委員2名、協議委員3名
学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
第2回 令和7年2月7日（金）内部委員2名、協議委員3名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書（原案）の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月	全校生徒	対象：648人	回収：420人	回収率：64.8%
・12月	保護者全員	対象：648人	回収：128人	回収率：19.8%
・12月	地域・住民	対象：140人	回収：67人	回収率：47.9%
・12月	教職員	対象：64人	回収：64人	回収率：100.0%
- (3) 主な評価項目
学校概要、学習指導、進路指導、生活指導、教育相談、学校運営の評価項目を4段階で設定する。
（そう思う、やや思う、あまり思わない、思わない の4段階）
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・1期生の経年変化を見ると改善されている項目が多い。（学習面、キャリア教育、生活指導）
 - ・教員・生徒と保護者との回答の差が生まれている項目が見られる。（満足度、学習面、進路指導）
 - ・情報発信について、教員は上昇しているが、生徒・保護者との乖離や地域の低さが目立つ。
 - ・学習面について生徒は一生懸命取り組む（81%）に対し、自信がついた（54%）は低い。
 - ・進路に関する情報提供について、生徒の評価は昨年度より高くなっている。（69%→75%）
 - ・悩みや迷いへの支援について、生徒・保護者からの評価が高い。（生徒87%、保護者80%）
 - ・地域からの認知が低い一方で、学校との連携について期待している方が一定数ある。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ・開校3年目となり、本校の教育活動について理解が高まっている。
 - ・初めての卒業生を出すにあたり、進路指導について教員・生徒の理解と保護者の期待にギャップがある。
 - ・学習面で生徒が一生懸命取り組めるように、教員は工夫をしているが、自信をつけさせるところまでには至っていない。
 - ・情報発信に教員は取り組んでいるが、保護者や地域の理解がまだ十分ではない。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒・保護者の「高校生活に満足している」「入学して良かった」の数値は昨年度に引き続きが高かった。
- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善のさらなる取り組みの強化、生徒の自信向上に向けた取り組みの強化など充実が必要であると認識できた。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・進路指導について保護者の期待が高いことから、進路決定に向けて組織的な取り組みの強化が必要であると認識できた。
- ・地域からは、学校への期待があることが分かった。今後地域への広報活動を一層強化し、本校の取り組みを紹介していく。
- ・学校評価の昨年度との比較により改善点が明確になった。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（１）学校運営

- ・生徒・保護者・地域に対して、情報発信を適切に実施し学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生徒の自己肯定感を高め、「できた」「わかった」など自信に繋がる教育活動の実践を検討・実施する。
- ・地域連携を強化し、生徒が社会の一員としての自覚を持ち、行動できる力を養う。

（２）学習指導

- ・変化の激しい世界の中で、生徒自ら学びに向かう意欲を喚起できるよう、授業改善を進めるとともに校内研修を活性化し、教員の資質能力の向上を推進する。
- ・誰一人の取り残さない教育の実現に向けた教育課程編成等の改善を図る。

（３）特別活動

- ・生徒が主体的・積極的に行事運営に参画できるシステムを構築し、自尊感情が高まるような行事運営を進めていく。

（４）生活指導

- ・学校生活の安全性や安心感の確保に一層努め、学校における日頃の「体罰・暴言対策」「いじめ対策」について、生徒に対してより積極的に周知し、安心安全な学校であることを周知することが必要である。

（５）進路指導

- ・進路指導に関する情報提供を充実させていく必要がある。生徒の進路実現に向け、上級学校への広報活動も積極的に行い、本校を認知してもらう活動も充実させていく。

（６）健康・安全

- ・「社会性を身に付けている」「精神面で成長した」について、「自信」「成長」に対する評価が低いため、周囲からの肯定的なフィードバックを行う教育活動の実践を行い、「できた」「わかった」など自信・成長を促す活動を行う。

（７）職員のライフ・ワーク・バランスの推進に一層努め、やりがいを見出すことのできる職場環境を作る。

6 協議委員のアンケートについて

協議会における指導助言の中で評価をいただいた。

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
6	2					1

7 本年度における協議委員の参加実績及び成果

【実績】 令和6年 4月 9日（火） 入学式参加 5名
令和6年10月18日（金） 芽吹祭参加 7名
令和7年 3月19日（水） 卒業式参加 6名

【成果】

- ・入学式では、生徒の様子や活動について見ていただく機会となった。
- ・芽吹祭（文化祭）では、行事に取り組む生徒の様子や活動内容を見ていただく機会となった。
- ・卒業式では、本校初の卒業生の様子や活動について見ていただく機会となった。

8 その他

- ・保護者や地域の学校評価アンケート回収率は改善の必要がある
- ・開校3年目になり、1期生の3年間の経年変化など比較分析が可能となった。
- ・協議委員の他、保護者や地域への学校公開の機会を増やし、本校の特色を示していく。